

エコアクション21

環境活動レポート

2024年度

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)



HIMEYURI
ひめゆり総業株式会社

発行日 2025 年 7 月 31 日



®環境省

エコアクション21
認証番号 0004463

目次

環境方針	2
環境経営方針	3
1. 会社概要	4
2. 施設および許可の状況	5
3. 処理の工程	7
4. エコアクション 2.1 運用組織図	8
5. 環境活動マップ	9
6. 環境目標	10
7. 環境活動計画	11
8. 環境目標の実績	14
9. 環境活動計画の取組結果とその評価	16
10. 次年度の環境経営目標	21
11. 次年度の環境経営計画	22
12. 環境関連法規の遵守状況の確認および評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	25
13. 代表者による全体評価と見直しの結果	25



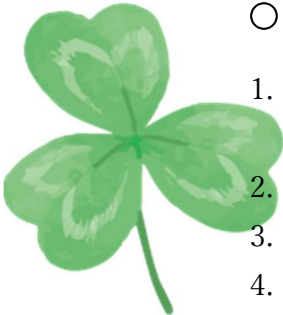
環 境 方 針

○ 基本理念



ひめゆり総業株式会社は、当社が行っている廃棄物処理事業が地球環境問題と深い関わりがあることを認識し、事業の管理運営を適正に行うことによって環境への負荷低減を図ります。また、誠実な企業活動を通して地域の方々との共生を図り、持続可能な社会の形成に貢献し、安心できる美しい地球環境を未来へ繋いでいきます。

○ 方針

- 
1. 産業廃棄物の適正処理を通じて環境への負荷低減を図り、環境汚染の予防に努めます。
 2. 地域社会の一員として人と自然との共生を図ります。
 3. 環境関連法規およびその他の法令ならびに社会的規範を遵守します。
 4. 環境への取り組みの定期的な見直しを行い、継続的な改善を図ります。
 5. 環境教育を通して地球環境保全への意識向上に努めます。
- 

この環境方針を従業員全員に周知し、広く社会に公開します。

2006 年 4 月 17 日 制定

2021 年 4 月 1 日 改定

ひめゆり総業株式会社 代表取締役社長 安島 司

環境経営方針

課題とチャンスの検討結果を踏まえ、エコアクション21における「環境経営方針」を下記に定める。

- 施設の管理・運営の効率化を徹底し、環境負荷の低減を図る
- ひめゆり監査委員会を定期的に開催し、地域とのコミュニケーションを図る
- 関連法規を理解するとともに、改正に適切に対応する
- 毎月、環境安全委員会を開催し、定期的な見直しを行う（PDCA 推進）
- 計画的な教育を通して力量、及び意識の向上を図る
- SDGs を背景として諸活動を推進する

2025 年 3 月 18 日

ひめゆり総業株式会社 代表取締役社長 安島 司



1. 会社概要

○組織の概要

事業者	ひめゆり総業株式会社	
代表者	代表取締役社長 安島 司	
所在地	福島県いわき市内郷宮町町田 105 番地	
法人設立年月日	1968 年 7 月 15 日	
資本金	3,000 万円	
環境管理責任者 および担当者	責任者	代表取締役社長 安島 司
	担当者	環境安全部 本郷 和広
	連絡先	TEL : 0246-26-4111 FAX : 0246-38-4242 Mail : kankyo@himeyuri-s.co.jp

○事業の内容および規模

事業内容		産業廃棄物最終処分業	産業廃棄物収集運搬業
※ 実績	数量〔トン〕	47,851	13,010
	売上高〔千円〕	1,491,250	
従業員数（常勤役員を含む）〔人〕		26 （2025 年 3 月 31 日現在）	

※2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日

2. 施設および許可の状況

○産業廃棄物最終処分業

当社は、通常の許可基準よりも厳しい基準に適合した優良な産廃処理業者として、許可行政庁（いわき市）より「**優良産廃処理業者認定**」を受けています。

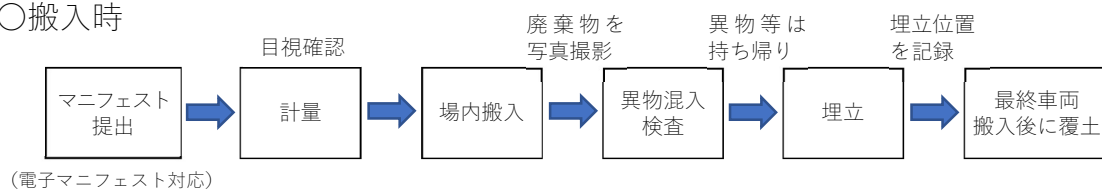
施設名称		町田処分場	平太郎処分場
施設の種類		管理型最終処分場	
所在地		福島県いわき市内郷宮町 町田 105 番 1 外 26 筆	福島県いわき市内郷宮町 町田 101 番 1 外 40 筆
埋立面積〔㎡〕		75,387	83,039
埋立容量〔㎡〕		2,349,681	1,341,198
残余容量〔㎡〕		0	508,811
許可	番号	いわき市長 第 09430038881 号	
	年月日	2025 年 3 月 24 日	
	有効期限	2032 年 3 月 21 日	
	廃棄物の種類	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん、政令第 2 条第 13 号に掲げるもの以上 14 種類 （これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物（回収義務が生じるものを除く）及び水銀含有ばいじん等（回収義務が生じるものを除く）を含む。）	

○産業廃棄物収集運搬業

施設の概要		10t ダンプトラック 3 台 2t ダンプトラック 1 台 8t 平ボデー車 1 台									
特別管理産業廃棄物収集運搬業											
許可	番号	福島県知事 第 00759038881 号									
	年月日	2023 年 3 月 31 日									
	有効期限	2028 年 3 月 30 日									
	廃棄物の種類	燃え殻（特定有害産業廃棄物で六価クロム化合物及び砒素又はその化合物を含むもの。）									
産業廃棄物収集運搬業											
許可権者 許可番号	許可年月日	取扱産業廃棄物の種類									
	有効年月日	燃え殻	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	びん・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん
福島県知事 第 00709038881 号	2022 年 8 月 26 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2027 年 7 月 2 日										
茨城県知事 第 00801038881 号	2022 年 12 月 5 日	○	○	○				○	○	○	○
	2027 年 8 月 27 日										
栃木県知事 第 00900038881 号	2022 年 7 月 22 日	○	○	○			○	○	○	○	○
	2027 年 7 月 21 日										
埼玉県知事 第 01105038881 号	2022 年 9 月 20 日	○	○	○							○
	2027 年 8 月 6 日										

3. 処理の工程

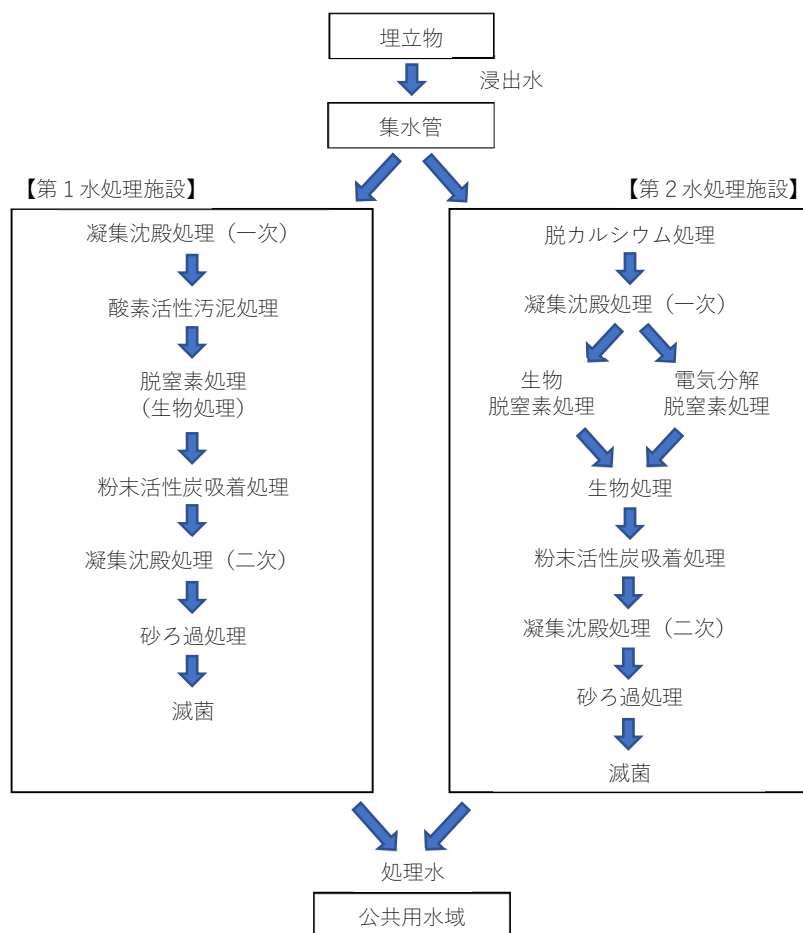
○搬入時



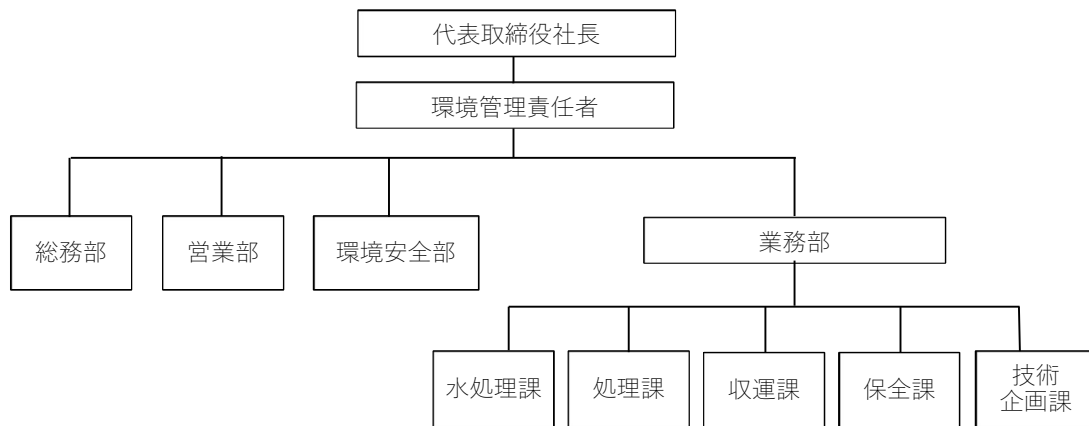
○埋立後管理（埋立地）

残容量測量、構築物の目視確認、地下水の水質測定、ガス測定、等
 （記録は「産廃情報ネット」で公開しています）

○埋立後管理（浸出水処理）



4. エコアクション 2 1 運用組織図



○役割責任権限表

名称	役割、責任、権限
代表取締役	○ 経営における課題とチャンスの明確化 ○ 環境方針の制定 ○ エコアクション 2 1 の実施体制及び経営資源の準備 ○ マネジメントレビューの実施
環境管理責任者	○ 環境目標及び環境活動計画の策定 ○ 環境安全委員会の開催 ○ 環境上の緊急事態への対応策の作成及び試行、見直しの実施 ○ 目標、活動計画、法令順守、環境負荷の状況の評価及び是正
環境安全部	○ エコアクション 21 活動の推進 ○ 環境活動、法令順守の状況の確認 ○ 環境活動レポートの作成、産廃情報ネットの更新 ○ 中間・更新審査への対応 ○ 労働安全衛生及び情報セキュリティ対策への取り組み
各部課長	○ 環境活動計画に基づく活動の実施

5. 環境活動マップ



環境への負荷源として…

本社事務所および水処理施設での電気 水道

水処理施設での化学物質 灯油

本社事務所でのLPG ガソリン

廃棄物の収集運搬および埋立作業での軽油

これらを特定し、負荷軽減のための活動に取り組んでいます。

また、プラスの側面での環境活動として、太陽光発電設備の設置、電気自動車の導入、エコキャップ活動への取り組み等を行っています。

6. 環境目標

2024年度からの新たな中期目標を設定した。赤字部分が今年度の目標。当社においては、環境負荷項目の数値は降雨量や気温といった気象条件の影響を大きく受けるため、施設規模が同一である過去4年間の平均値を基準として、それを維持することを目標とする。

項目		基準値 (2020～2023年度 平均値)	目標値（目標状態）		
			2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量削減【kg-CO ₂ 】		683,023	683,023	683,023	683,023
			基準値を維持		
電力由来【kg-CO ₂ 】	電力由来【kg-CO ₂ 】	435,485	435,485	435,485	435,485
			基準値を維持		
	軽油由来【kg-CO ₂ 】	172,735	172,735	172,735	172,735
			基準値を維持		
	灯油由来【kg-CO ₂ 】	64,496	64,496	64,496	64,496
			基準値を維持		
ガソリン由来【kg-CO ₂ 】	ガソリン由来【kg-CO ₂ 】	9,730	9,730	9,730	9,730
			基準値を維持		
LPG由来【kg-CO ₂ 】	LPG由来【kg-CO ₂ 】	599	599	599	599
			基準値を維持		
廃棄物排出量削減【kg】		423	423	423	423
			基準値を維持		
水使用量削減【m ³ 】		5,086	5,086	5,086	5,086
			基準値を維持		
化学物質使用量削減	メタノール【kg】	32,570	32,570	32,570	32,570
			基準値を維持		
	硫酸アルミニウム【kg】	37,757	37,757	37,757	37,757
			基準値を維持		
	塩化第二鉄【kg】	30,596	30,596	30,596	30,596
苛性ソーダ【kg】	苛性ソーダ【kg】	65,345	65,345	65,345	65,345
			基準値を維持		
自らが受託した産業廃棄物の 収集運搬・処分における環境配慮			水処理施設における電気使用設備の保全		

※購入電力の二酸化炭素排出係数：0.523kg-CO₂/kWh（東北電力、2017年調整後）

※産業廃棄物（自社分）は自社処分場にて埋立処理

項目	基準値 (1回/月)	目標値（目標状態）		
		2024年度	2025年度	2026年度
安全パトロールの実施【回】	12	12	12	12
		基準値を維持		

【関連 SDG s】



7. 環境活動計画

7-1. 二酸化炭素排出量、水使用量、化学物質使用量の削減

活動の対象	活動内容	関連 SDGs
浸出水処理施設	埋立処分場に降った雨水を、廃棄物に触れる前に汲み上げて排水する。	  
	→浸出水量を削減することができ、浸出水処理量が減れば二酸化炭素排出量、水使用量、化学物質使用量が削減される。	

7-2. 二酸化炭素排出量の削減

活動の対象	活動内容	関連 SDGs
電気	浸出水処理施設	  
	各処理装置や計測機器類の定期的な点検、記録管理を行う。 →適切な管理の元で無駄な電気を使わない。 修理、更新の際は省エネ機器を採用する。	
軽油	収集運搬車両	 
	日常の点検、記録を実施徹底する。 常にエコドライブを心掛ける。 →車両の適切な管理とエコドライブを意識した運転により無駄な軽油の使用を抑える。	
軽油	埋立作業用重機	 
	日常の点検、修理、記録を実施徹底する。 →適切な管理により無駄な軽油の使用を抑える	
灯油	浸出水処理施設	  
	浸出水処理工程中の加温用ボイラーの日常点検、および加温の状況（水温）の確認、これらの記録を実施する。 →機器の適切な管理と必要程度の加温を維持することにより灯油の使用を抑える	
電気	事務所内	
	会議室等の使用後、および帰社時の各執務室での電気、エアコンの消し忘れを確認する。 エアコン使用時は適切な温度設定で使用する。 →無駄な電気の使用を抑える。	

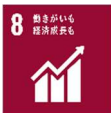
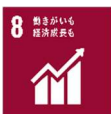
7-3. 水使用量の削減

活動の対象	活動内容	関連 SDGs
事業所内の各水栓	節水啓発の表示を設置、維持する。 毎月、部門ごとの水使用量の集計結果を社内掲示する。	 
	→節水および水使用の状況を意識することにより水の使用を抑える。	

7-4. 廃棄物発生量の削減

活動の対象	活動内容	関連 SDGs
事業所全体	毎月、一般ごみ排出量の集計結果を社内掲示する。	
	→ごみの排出量を周知することにより、ごみの排出状況を意識すること、および排出抑制に繋げる。	

7-5. その他

項目	活動内容	関連 SDGs
外部、内部 コミュニケーション	年に2回、当社事業の監査および地域住民との対話の場として「ひめゆり監査委員会」を開催する。	 
	行政主催の清掃活動へ参加する。	
	自社ホームページや公的な情報公開システムである「産廃情報ネット」等を活用して情報公開を行う。また、必要な都度公開情報を更新する。	
	毎月、環境活動および安全衛生に関する報告、協議の場として「環境安全委員会」を開催する。	
法令順守	毎月、法令対応事項の管理表を基に、実施状況を確認する。管理表は毎年度更新する。	 

教育	年度初めに、環境活動および安全衛生活動の目標、計画についての社内説明会を行う。	
	法令順守や情報セキュリティ等に関する各種教育を計画的に行う。	
安全、防災	ヒヤリハット、危険予知、リスクアセスメントの各種活動を実施、推進する。	
	日常、および月次での安全パトロールを計画的に実施し、結果について是正管理を行う。	
	環境上の緊急事態への対応策を試行する。	
	全国労働安全週間等の各種運動に合わせた活動を計画的に行う。	

8. 環境目標の実績

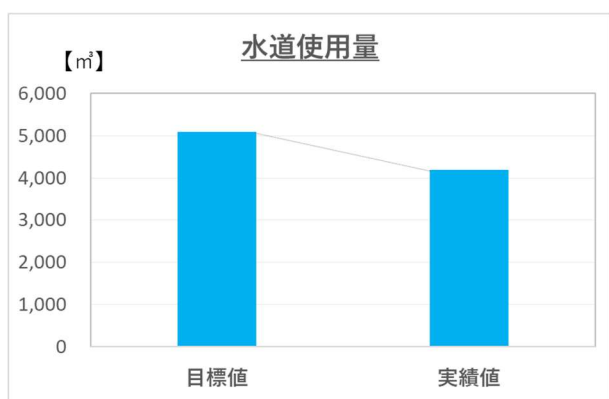
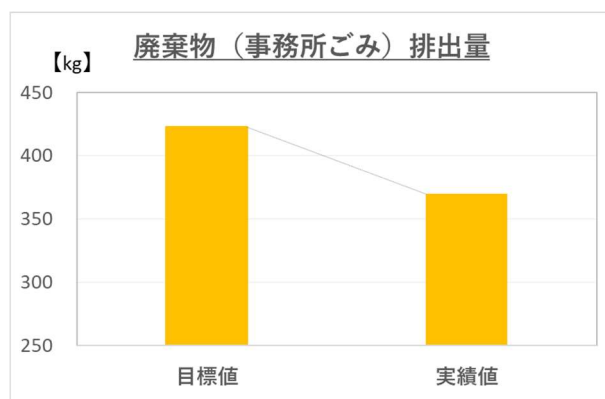
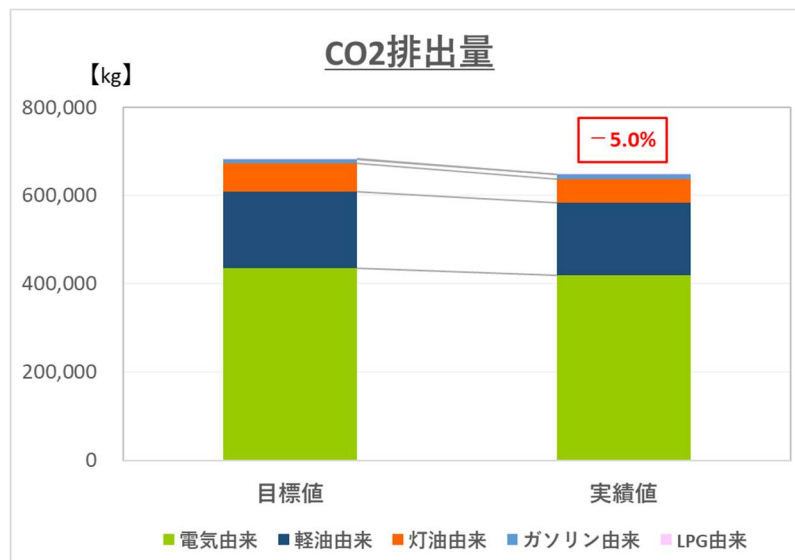
項目		基準値 (2020～2023年度 平均値)	目標値	2024年度 実績値 【kg-CO ₂ 】	対目標差異 【kg-CO ₂ 】	対目標比
			2024年度			
二酸化炭素排出量削減【kg-CO ₂ 】		683,023	683,023 基準値を維持	648,824	-34,199	-5.0%
化学物質 使用量 削減	電力由来【kg-CO ₂ 】	435,485	435,485 基準値を維持	419,136	-16,349	-3.8%
	軽油由来【kg-CO ₂ 】	172,735	172,735 基準値を維持	164,134	-8,601	-5.0%
	灯油由来【kg-CO ₂ 】	64,496	64,496 基準値を維持	54,820	-9,676	-15.0%
	ガソリン由来【kg-CO ₂ 】	9,730	9,730 基準値を維持	9,879	149	1.5%
	LPG由来【kg-CO ₂ 】	599	599 基準値を維持	855	256	42.8%
廃棄物排出量削減【kg】		423	423 基準値を維持	370	-53	-12.6%
水使用量削減【m ³ 】		5,086	5,086 基準値を維持	4,188	-898	-17.7%
化学物質 使用量 削減	メタノール【kg】	32,570	32,570 基準値を維持	26,742	-5,828	-17.9%
	硫酸アルミニウム【kg】	37,757	37,757 基準値を維持	36,775	-982	-2.6%
	塩化第二鉄【kg】	30,596	30,596 基準値を維持	25,762	-4,834	-15.8%
	苛性ソーダ【kg】	65,345	65,345 基準値を維持	52,229	-13,116	-20.1%
自らが受託した産業廃棄物の 収集運搬・処分における環境配慮			水処理施設における 電気使用設備の保全	環境活動計画の中で定期的に点検を実施した		

※購入電力の二酸化炭素排出係数：0.523kg-CO₂/kWh（東北電力、2017 年調整後）

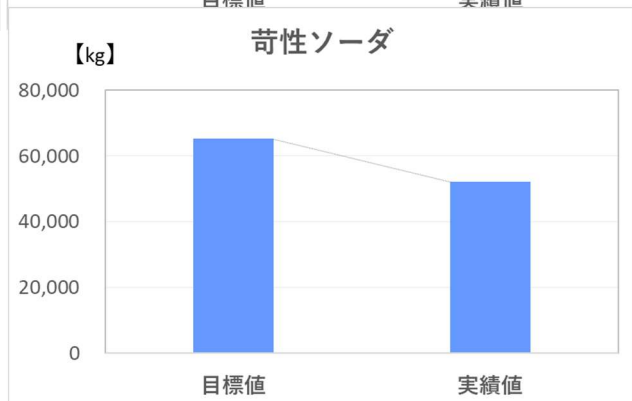
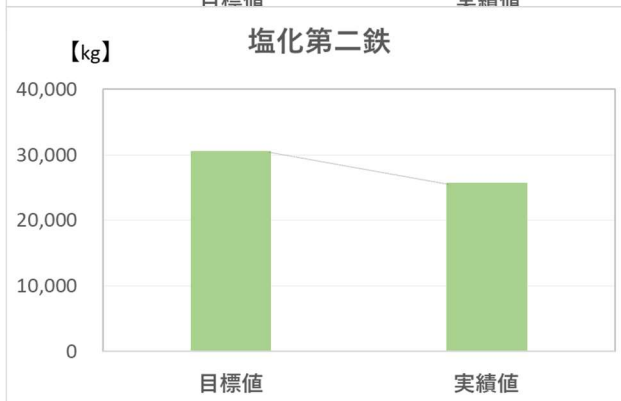
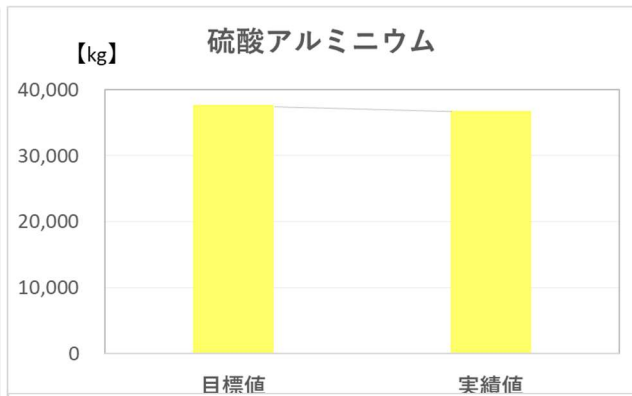
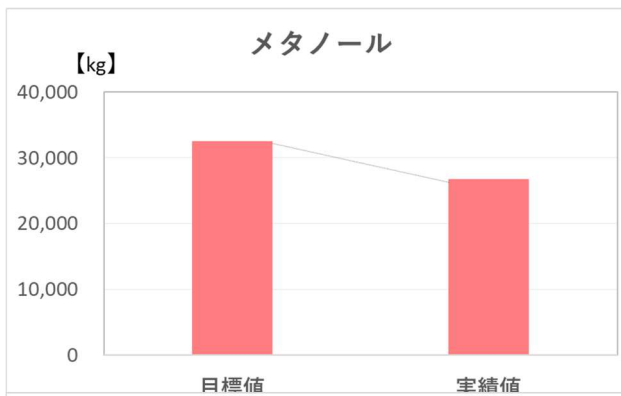
※産業廃棄物（自社分）は自社処分場にて埋立処理

【総評】

二酸化炭素排出量、水使用量、化学物質使用量の実績は、いずれも目標値を下回った。これは昨年度よりも降雨量が少なく、浸出水処理量が昨年度よりも約 17%減ったことによる。浸出水処理量が減ったことで、主に浸出水処理施設での電力使用量、および化学物質使用量の減少に繋がった。



・化学物質使用量



9. 環境活動計画の取組結果とその評価

9-1. 二酸化炭素排出量、水使用量、化学物質使用量の削減

○：達成、△：一部達成、×：未実施

活動の対象	活動内容	評価	
浸出水処理施設	埋立処分場に降った雨水を、廃棄物に触れる前に汲み上げて排水する。	計画的に雨水排除を実施し、排除量を計測した。	○

9-2. 二酸化炭素排出量の削減

負荷発生源		活動内容	評価	
電気	浸出水処理施設	各処理装置や計測機器類の定期的な点検、記録管理を行う。	年間計画通り実施されたことを確認した。	○
軽油	収集運搬車両	日常の点検、記録を実施徹底する。常にエコドライブを心掛ける。	年間計画通り実施されたことを確認した。	○
軽油	埋立作業用重機	日常の点検、修理、記録を実施徹底する。	年間計画通り実施されたことを確認した。	○
灯油	浸出水処理施設	浸出水処理工程中の加温用ボイラーの日常点検、および加温の状況の確認、これらの記録を実施する。	年間計画通り実施されたことを確認した。	○
電気	浸出水処理施設	会議室等の使用後、および帰社時の各執務室での電気、エアコンの消し忘れを確認する。 エアコン使用時は適切な温度設定で使用する。	全社員が意識的に活動している。	○

9-3. 水使用量の削減

活動の対象	活動内容	評価	
事業所内の各水栓	節水啓発の表示を設置、維持する。 毎月、部門ごとの水使用量の集計結果を社内掲示する。	計画通り実施されていることを確認した。	○

9-4. 廃棄物発生量の削減

活動の対象	活動内容	評価	
事業所全体	毎月、一般ごみ排出量の集計結果を社内掲示する。	計画通り実施されていることを確認した。	○

9-5. その他

項目	活動内容	評価	
外部、内部 コミュニケーション	年に2回、「ひめゆり監査委員会」を開催する。	年間計画通り実施されたことを確認した。	○
	行政主催の清掃活動へ参加する。		
	自社ホームページ等で情報公開を行う。また、必要な都度公開情報を更新する。		
	毎月、環境活動および安全衛生に関する報告、協議の場として「環境安全委員会」を開催する。		
法令順守	毎月、法令対応事項の管理表を基に、実施状況を確認する。管理表は毎年度更新する。	計画通り実施されていることを確認した。	○
教育	年度初めに、環境活動および安全衛生活動の目標、計画についての社内説明会を行う。	年間計画通り実施されたことを確認した。	○
	法令順守や情報セキュリティ等に関する各種教育を計画的に行う。		
安全、防災	ヒヤリハット、危険予知、リスクアセスメントの各種活動を実施、推進する。	計画通り実施されていることを確認した。	○
	日常、および月次での安全パトロールを計画的に実施し、結果については是正管理を行う。		
	環境上の緊急事態への対応策を試行する。		
	全国労働安全週間等の各種運動に合わせた活動を計画的に行う。		



【写真 1 地域清掃活動】



【写真 2 防災訓練】



【写真 3 消火器操作訓練】



【写真 4 エコカップ運動】

ひめゆり監査委員会

当社は、近隣住民代表の方々に処分場の維持管理状況を監査して頂く「ひめゆり監査委員会」を、2000年3月から、年に2回継続して開催しています。毎年度春と秋の開催で、監査内容は廃棄物搬入量や埋立状況、埋立地及び浸出水処理施設の維持管理状況等です。2024年度は、春季は4月20日（土）に、秋季は10月24日（木）に開催しました。当日は処分場の現場を視察していただき、監査においては忌憚のないご意見をいただきました。



セーフティチャレンジ運動

当社は、福島県交通安全協会等が主催する無事故無違反に向けた「セーフティチャレンジ運動」に協賛・参加しています。3人1組のグループを作り、7月からの半年間、グループ単位で無事故無違反に取り組んでいます。

太陽光発電

当社は、社有地を有効活用するため町田処分場内に出力 200kW の太陽光発電設備「ひめゆり総業発電所」を設置し、発電量全量を売電しています。

2024 年度の発電量は 283,000kWh で、これは全社での電気使用量の 32.7%に相当します。また、二酸化炭素排出削減の効果を試算すると 148,000kg-CO₂ となり、全社での二酸化炭素排出量の 22.8%に相当する量の二酸化炭素排出削減に貢献したことになります。

※二酸化炭素量への換算には、2017 年度東北電力 CO₂ 排出係数:0.523kg-CO₂/kWh を使用



健康経営優良法人

当社は、経済産業省および日本健康会議が選定する「健康経営優良法人 2025（中小規模法人部門）」に認定されました。

健康経営優良法人認定制度は、地域の健康課題に則した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な法人を顕彰する制度です。

今後も、従業員が健康で安心して、やりがいを持って働くことができる職場を実現するため、健康保持・増進のための取り組みを進めてまいります。



10. 次年度の環境経営目標

2024 年度から 3 年間の中期目標であり、次年度の目標値は当年度と同様となる。

項目		基準値 (2020～2023年度 平均値)	目標値（目標状態）				
			2024年度	2025年度	2026年度		
二酸化炭素排出量削減【kg-CO ₂ 】		683,023	683,023	683,023	683,023		
			基準値を維持				
電力由来【kg-CO ₂ 】	軽油由来【kg-CO ₂ 】	灯油由来【kg-CO ₂ 】	ガソリン由来【kg-CO ₂ 】	LPG由来【kg-CO ₂ 】	435,485	435,485	435,485
					基準値を維持		
					172,735	172,735	172,735
					基準値を維持		
					64,496	64,496	64,496
					基準値を維持		
		9,730	9,730	9,730			
		基準値を維持					
		599	599	599			
		基準値を維持					
廃棄物排出量削減【kg】		423	423	423	423		
		基準値を維持					
水使用量削減【m ³ 】		5,086	5,086	5,086	5,086		
		基準値を維持					
化学物質使用量削減	メタノール【kg】	32,570	32,570	32,570	32,570		
	基準値を維持						
	硫酸アルミニウム【kg】	37,757	37,757	37,757	37,757		
	基準値を維持						
	塩化第二鉄【kg】	30,596	30,596	30,596	30,596		
	基準値を維持						
苛性ソーダ【kg】		65,345	65,345	65,345	65,345		
		基準値を維持					
自らが受託した産業廃棄物の 収集運搬・処分における環境配慮			水処理施設における電気使用設備の保全				

※購入電力の二酸化炭素排出係数：0.523kg-CO₂/kWh（東北電力、2017 年調整後）

※産業廃棄物（自社分）は自社処分場にて埋立処理

項目	基準値 (4件/人・年)	目標値（目標状態）		
		2024年度	2025年度	2026年度
ヒヤリハット活動の実施、推進	100	100	100	100
		基準値を維持		

【関連 SDG s】



11. 次年度の環境経営計画

11-1. 二酸化炭素排出量、水使用量、化学物質使用量の削減

活動の対象	活動内容	関連 SDGs
浸出水処理施設	埋立処分場に降った雨水を、廃棄物に触れる前に汲み上げて排水する。	  
	→浸出水量を削減することができ、浸出水処理量が減れば二酸化炭素排出量、水使用量、化学物質使用量が削減される。	

11-2. 二酸化炭素排出量の削減

活動の対象	活動内容	関連 SDGs
電気	各処理装置や計測機器類の定期的な点検、記録管理を行う。	  
	→適切な管理の元で無駄な電気を使わない。 修理、更新の際は省エネ機器を採用する。	
軽油	日常の点検、記録を実施徹底する。 常にエコドライブを心掛ける。	 
	→車両の適切な管理とエコドライブを意識した運転により無駄な軽油の使用を抑える。	
軽油	日常の点検、修理、記録を実施徹底する。	 
	→適切な管理により無駄な軽油の使用を抑える	
灯油	浸出水処理工程中の加温用ボイラーの日常点検、および加温の状況（水温）の確認、これらの記録を実施する。	  
	→機器の適切な管理と必要程度の加温を維持することにより灯油の使用を抑える	
電気	会議室等の使用後、および帰社時の各執務室での電気、エアコンの消し忘れを確認する。 エアコン使用時は適切な温度設定で使用する。	
	→無駄な電気の使用を抑える。	

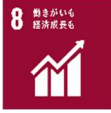
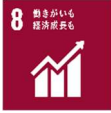
11-3. 水使用量の削減

活動の対象	活動内容	関連 SDGs
事業所内の各水栓	節水啓発の表示を設置、維持する。 毎月、部門ごとの水使用量の集計結果を社内掲示する。	 
	→節水および水使用の状況を意識することにより水の使用を抑える。	

7-4. 廃棄物発生量の削減

活動の対象	活動内容	関連 SDGs
事業所全体	毎月、一般ごみ排出量の集計結果を社内掲示する。	
	→ごみの排出量を周知することにより、ごみの排出状況を意識すること、および排出抑制に繋げる。	

7-5. その他

項目	活動内容	関連 SDGs
外部、内部 コミュニケーション	年に2回、当社事業の監査および地域住民との対話の場として「ひめゆり監査委員会」を開催する。	 
	行政主催の清掃活動へ参加する。	
	自社ホームページや公的な情報公開システムである「産廃情報ネット」等を活用して情報公開を行う。また、必要な都度公開情報を更新する。	
	毎月、環境活動および安全衛生に関する報告、協議の場として「環境安全委員会」を開催する。	
法令順守	毎月、法令対応事項の管理表を基に、実施状況を確認する。管理表は毎年度更新する。	 

教育	年度初めに、環境活動および安全衛生活動の目標、計画についての社内説明会を行う。	
	法令順守や情報セキュリティ等に関する各種教育を計画的に行う。	
安全、防災	ヒヤリハット、危険予知、リスクアセスメントの各種活動を実施、推進する。	
	日常、および月次での安全パトロールを計画的に実施し、結果について是正管理を行う。	
	環境上の緊急事態への対応策を試行する。	
	全国労働安全週間等の各種運動に合わせた活動を計画的に行う。	

12. 環境関連法規の遵守状況の確認および評価の結果、 並びに違反、訴訟等の有無



12-1. 法令遵守状況

適用法令	主な遵守事項	評価
廃棄物処理法	業・施設の許可、委託基準、収集運搬基準、施設の技術基準、埋立基準、維持管理基準 等	履行
ダイオキシン類特措法	地下水、放流水のモニタリング 等	履行
大気汚染防止法	ばい煙発生施設の設置届出 等	履行
騒音規制法	特定施設の設置届出 等	履行
浄化槽法	保守点検、清掃 等	履行
化管法	第一種指定化学物質の排出量の把握 等	履行
フロン排出抑制法	第一種特定製品の点検、フロン類引渡し 等	履行
消防法	危険物施設の設置許可、点検、講習受講 等	履行
毒劇法	保管場所の表示、紛失防止 等	履行
県生活環境保全条例	排水指定施設の設置届出 等	履行

12-2. 違反・訴訟等

- 環境関連法規への違反がないことを確認した。
- 規制当局からの違反等の指摘、および環境に関連する訴訟、その他の紛争は無いことを確認した。

13. 代表者による全体評価と見直しの結果

13-1. 評価

当社のエコアクション 21 における活動は、環境経営システムが有効に機能しており、策定した計画通りに着実に実施されていることを確認した。

13-2. 見直し、指示

審査時に審査人からいただいたコメントを参考に、安全に関する目標をより実効性のある内容に見直すこと。

以上